

神崎市地域経済動向調査(8月号)

■全国の景況

◇月例経済報告(H30.7月号より)

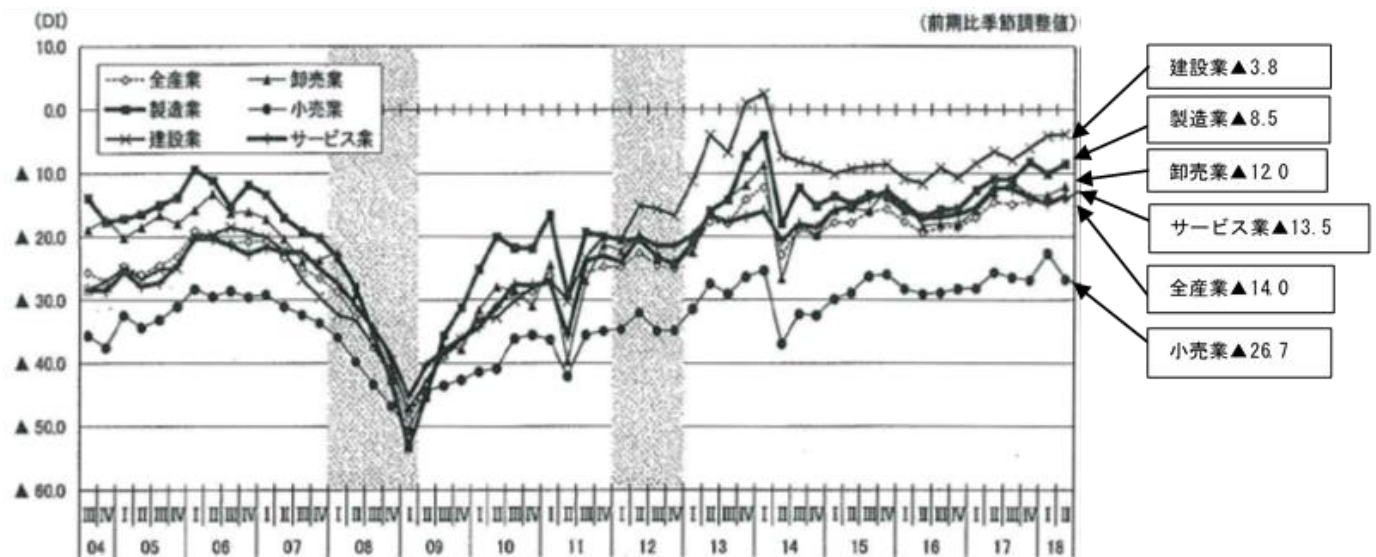
『景気は、緩やかに回復している』

- ・個人消費は、持ち直している。
- ・設備投資は、緩やかに増加している。
- ・輸出は、持ち直している。
- ・生産は、緩やかに増加している。
- ・企業収益は、改善している。企業の業況判断は、おおむね横ばいとなっている。
- ・雇用情勢は、着実に改善している。
- ・消費者物価は、このところ緩やかに上昇している。
- ・先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題の動向が世界経済に与える影響や海外経済の不確実性、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある。また、平成30年7月豪雨の経済に与える影響に十分留意する必要がある。

◇中小企業景況調査(2018年4～6月期より)

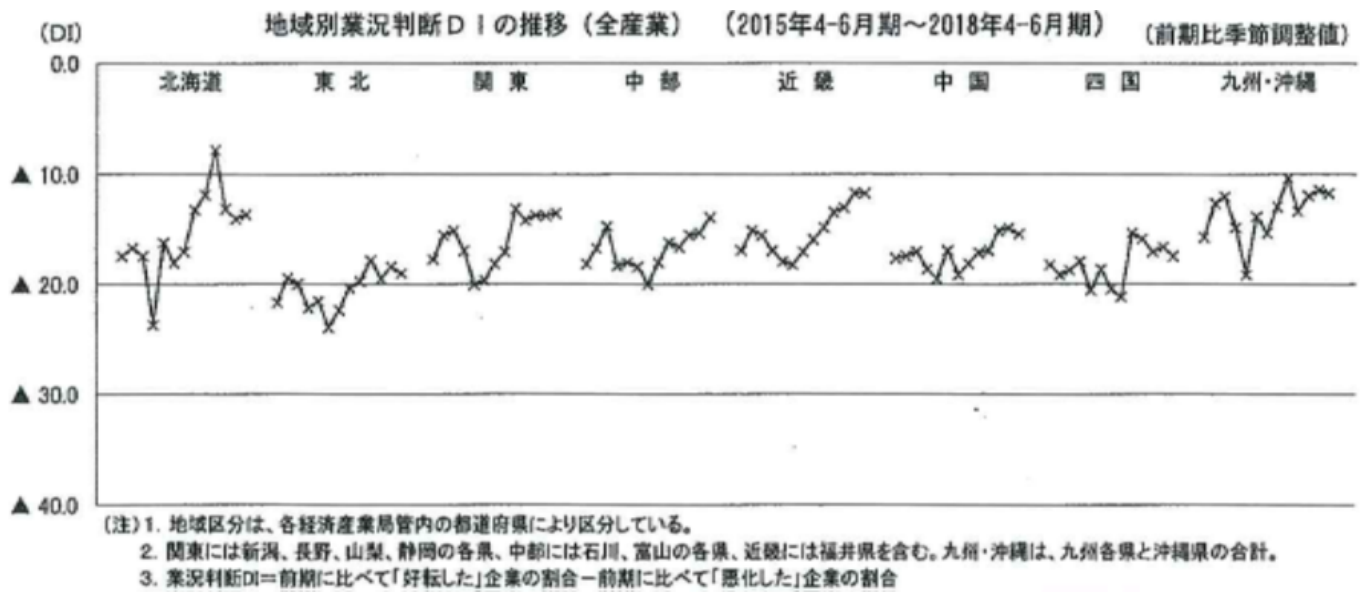
『中小企業の業況は、一部業種に一服感がみられるものの、基調としては、緩やかに改善している』

<中小企業の業況判断(2018年4～6月期)>



- ・2018年4～6月期の全産業業況判断DI値は、▲14.0(前期より0.1ポイント減)で3期ぶりに低下した。業種毎には、製造業、建設業、卸売業、サービス業がポイント増、小売業でポイント減少となっている。
- ・なお、業種別では、小売業が最も厳しい業況判断となっている。

<地域別業況判断(2018年4～6月期)>



・中部など3地域でマイナス幅が縮小し、近畿で横ばい、九州・沖縄など4地域でマイナス幅が拡大している。

■佐賀県の景況

◇佐賀県内経済情勢報告 (H30.8)

『県内経済は、緩やかに回復しつつある』

- ・個人消費は、持ち直している。
- ・生産活動は、持ち直している。
- ・雇用情勢は、改善している。
- ・設備投資は、30年度は前年度を上回る見通しとなっている。
- ・企業収益は、30年度は増益見通しとなっている。
- ・住宅建設は、前年を下回っている。

◇佐賀県主要経済統計速報 (H30.7 より)

佐賀県主要経済統計速報 7月号より、佐賀県内の経済情勢は以下のとおりとなっている。

佐賀県経済の最近の動向(対前年同月比)をみると、

- ・需要面では、百貨店・スーパー販売額（5月）は、全店販売額が4ヵ月連続で下回った。
乗用車新規登録台数（6月）は、2ヵ月連続で下回った。
新設住宅着工戸数（5月）は、2ヵ月振りに下回った。
公共工事前払保証請負金額（6月）は、3ヵ月振りに下回った。
- ・生産面では、鉱工業生産指数（5月）は、2ヵ月振りに上回った。
- ・雇用面では、有効求人倍率(就業地別)（5月）は、39ヵ月連続で上回った。
- ・企業倒産（6月）の件数は1件減で、金額は2ヵ月連続で下回った。
- ・金融機関（銀行）貸出金残高（6月）は、3ヵ月連続で上回った。

＜佐賀県内の参考指数＞

項 目				対象月	数 値	単位	対前年同月比・ 増 減 分	前月比・増減分		
県内需要	個人消費	百貨店・スーパー販売額	全店販売額 既存店販売額	5月	49億55百万	円	△4.6%		0.6%	
					—	—	△1.9%		—	—
		乗用車新規登録台数		6月	2,585	台	△2.0%		23.3%	
	住宅建設	新設住宅着工戸数		5月	365	戸	△17.8%		△5.9%	
	公共工事	公共工事前払保証請負金額		6月	61億60百万	円	△30.0%		△61.2%	
生産	鉱工業生産指数（注）			5月	94.7		4.5%		5.5%	
雇用	所定外労働時間数指数（事業所規模30人以上）			4月	133.6		30.3%		—	—
	有効求人倍率・受理地別（季節調整済）			5月	1.30	倍	0.09		0.00	
	有効求人倍率・就業地別（〃）			5月	1.56	倍	0.12		0.02	
企業倒産	企業倒産状況 （累計は年間ベース） （注）	倒産件数（当月）		6月	1	件	△1件		△1件	
		〃（累計）			13	件	1件		—	—
		負債金額（当月）			20百万	円	△35億10百万円		△9億円	
		〃（累計）			14億36百万	円	△36億1百万円		—	—
物価金融	消費者物価指数（佐賀市）			5月	101.7		0.9%		0.2%	
	金融機関（銀行）の貸出残高			6月	1兆3,255億	円	1.8%		0.4%	
人口	推計人口			6月	819,565	人	△4,901人		△81人	
	推計世帯数				309,342	世帯	2,584世帯		331世帯	
景気動向指数	先行指数			4月	85.0	%	—	—	—	—
	一致指数				42.9	%	—	—	—	—
	遅行指数				33.3	%	—	—	—	—

■神埼市の景況

『神埼市の景況は佐賀県の情勢に類似すると思われる』

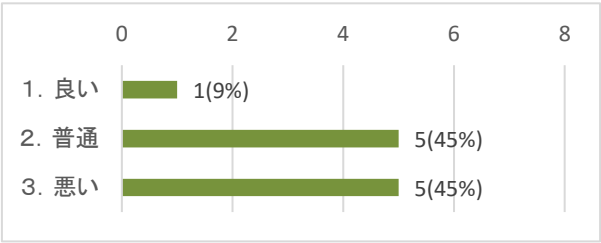
◇中小企業景況調査 (2018 年 4～6 月期より)

中小企業景況調査より、平成 28 年 4～6 月期から平成 30 年 4 月～6 月の業況判断状況は以下のとおりである。

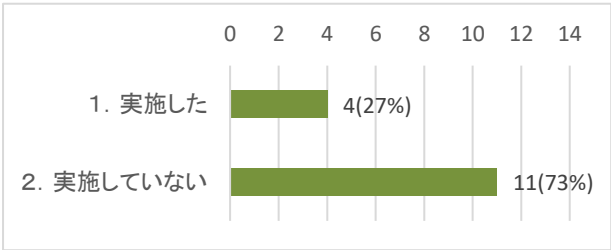
	H28.4～6 月期	H28.7～9 月期	H28.10～12 月期	H29.1～3 月期	H29.4～6 月期	H29.7～9 月期	H29.10～12 月期	H30.1～3 月期	H30.4～6 月期
全国	▲19.5	▲18.2	▲18.7	▲17.0	▲14.3	▲14.8	▲14.4	▲13.9	▲14.0
佐賀県	▲20.1	▲15.9	▲15.5	▲15.4	▲15.5	▲22.2	▲18.5	▲19.8	▲19.4
神埼市	-	-	-	▲26.7	6.3	▲20.0	▲7.1	▲7.1	▲36.4

- ・2018 年 4～6 月期の佐賀県の全産業の業況判断 DI は、▲19.4(前期差 0.4 ポイント増加)で、増となっている。
- ・佐賀県は全国と比較して、5.4 ポイント低くなっている。
- ・神埼市は、15 社分の集計結果であり参考値としてみていただきたいが、DI は▲36.4 で、全国値、佐賀県値より低い値となっている。
- ・神埼市 15 社分の現在の景況感、設備投資状況は以下のとおりである。

＜現在の景況感＞



＜設備投資 今季 平成 30 年 4 月～6 月＞



＜経営上の課題＞

		経営上の問題点		
		1位	2位	3位
建設業	全国	従業員の確保難	官公需要の停滞	熟練技術者の確保難
	神埼市商工会	従業員の確保難	下請業者の確保難	材料費・人件費以外の経費の増加
製造業	全国	需要の停滞	原材料価格の上昇	従業員の確保難
	神埼市商工会	原材料価格の上昇	原材料費・人件費以外の経費の増加	需要の停滞
小売業	全国	大・中型店の進出による競争の激化	消費者ニーズの変化への対応	需要の停滞
	神埼市商工会	仕入単価の上昇	購買力の他地域への流出	店舗の狭隘・老朽化
サービス業	全国	利用者ニーズの変化への対応	需要の停滞	従業員の確保難
	神埼市商工会	従業員の確保難	材料等仕入単価の上昇	人件費の増加

- ・中小企業景況調査で、全国で約 8,000 件、神埼市商工会では 15 件が対象となっている。
- ・建設業、サービス業は「従業員の確保難」、製造業は「原材料価格の上昇」、小売業は、「仕入単価の上昇」が最重要課題となっている。

◇保証月報（佐賀県信用保証協会より）

神埼市内事業所の金融保証承諾などは以下のとおりである。

単位：件、千円

	H29.6				H30.6			
	保証承諾		保証債務残高		保証承諾		保証債務残高	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
神埼市	9	156,500	350	2,760,628	5	67,800	336	2,600,132
佐賀県	257	2,635,980	10,695	81,676,946	189	2,141,262	10,342	77,431,744

・平成 30 年 6 月の神埼市内中小企業の保証承諾件数は 5 件で、金額は 67,800 千円で、前年同月比では減少となっている。

・保証債務残高は、佐賀県全体、神埼市とも、減少となっている。